

令和5年度 奈良県委託事業
重症心身障害児者・医療的ケア児者支援人材育成事業 報告書

事業名 重症心身障害児者・医療的ケア児者支援人材育成事業

契約期間 令和5年4月1日 から 令和6年3月15日

契約金額 777,500円

1. 訪問事業所の選定・実施日程

	事業所名	サービス種別	1回目訪問	2回目訪問または 当園での研修
①	オープンスペース AYUMI	居宅介護事業 生活介護	6月22日(木) 13:30~15:15	10月24日(火) 10:30~12:00 当園にて見学及び研修
②	一般社団法人 komorebi わくわくホーム	放課後デイサ ービス	6月29日(木) 16:00~18:45	10月17日(火) 16:00~18:00 わくわくホームにて
③	特定非営利法人 ポニーの里をつくろ う会	生活介護 通所事業	7月11日(火) 10:00~12:30	10月10日(月) 11:00~13:00 ポニーの里にて 11月7日(火) 10:00~12:00 当園にて見学及び研修
④	まなび家 新庄	放課後デイサ ービス	7月11日(火) 14:00~15:30	11月10日(金) 10:00~12:30 当園にて見学及び研修
⑤	一般社団法人 おたがいさま によきによき	児童発達支援	7月12日(火) 10:30~11:45	10月3日(火) 10:00~13:00 10月17日(火) 10:00~13:00 当園にて見学及び研修
⑥	特定非営利活動法人 かかしの会	生活介護	7月24日(火) 10:00~12:00	10月27日(金) 10:30~12:30 当園にて見学及び研修
⑦	生活介護事業所 しふおん	生活介護	7月27日(木) 11:00~12:00	11月7日(火) 10:00~12:00 当園にて見学及び研修

2. 訪問等の実施方法（電話連絡にて本事業説明、訪問日程調整。）

- 1回目訪問：各事業所を訪問し、本事業の趣旨説明とともに事業所の体制などの現状とニーズの把握に努める。
- 2回目訪問：1回目の訪問での内容をもとに、必要とされる指導・助言内容等を検討し、事業所へ出向いての指導研修もしくは当園での研修を行った。

3. 訪問指導を終えて

事業所の現状について

各事業所については、医療的ケア児や重症心身障害児者の通所要望はあるが、人材（特に看護師不足）・経験・スキルの問題で受け入れをしたくてもできない現状。

スキル面において、共通した課題は、重症心身障害児者のポジショニングにおける基本的な考え方や身体の構造に対する理解の取得であったと感じる。作業療法士や理学療法士など、リハビリ職が所属しているが、経験がなかだれかに相談、フィードバックできる機会が無い。

また、看護師においても同様に今まで重症心身障害児者のケアをした経験がなく、不安を抱えたままケアをしている、相談できる場所が無いという課題が多く見られた。

事業所単体で横のつながりを作る機会や、身体の特徴理解や看護技術を取得する研修などが不足している、といった事も課題であると感じた。

受け入れされている事業所の方が少ないことから、重症心身障害児者のケアが未経験で課題となる内容も明確ではなく、受け入れに関しては前段階であるように思われる。そのためのスキルも不足している。

研修等においても、事業所と施設や医療機関との連携及び、時間や費用の問題で進んでいない。行政への要望としては、上記の人材に関しては、事業所で看護や介護ができることもあまり浸透していない状況のため入職の希望も少ない。研修会においても経験そのものがないため、重症心身障害児者に関わる状況をつくることが求められる。

そのため訪問指導では、食事摂取・感染・吸引のスキル・緊急時の対応方法等のご要望もあるが、実際に重症心身障害児施設にて実習を行い、利用者の方と直接接することが中心となった。

その結果、受け入れ時の必要なスキル・物品・人材がイメージできたと考えらえる。